

# 薬剤投与プロトコル一部改定について

1

## 現行プロトコル

### P 3 3. 薬剤プロトコル

- ② 心室細動/無脈性心室頻拍を確認した場合・・・（中略）除細動プロトコルを実施後、**心静止/無脈性電気活動を確認した場合**、器具を用いた気道確保又は薬剤投与の適応について・・・（省略）



## 改定案

### P 3 3. 薬剤プロトコル

- ② 心室細動/無脈性心室頻拍を確認した場合・・・・・・（中略）除細動プロトコルを実施後、**心電図波形に関わらず**、器具を用いた気道確保又は薬剤投与の適応について・・・（省略）

2

## 現行プロトコル

### P 3 3. 薬剤プロトコル

- ③ 初期心電図波形が除細動非適応の心停止において薬剤を投与する場合は、**現場での早期投与**を目標とし、可能な限り速やかに投与する。



## 改定案

### P 3 3. 薬剤プロトコル

- ③ 初期心電図波形が除細動非適応の心停止に・・・（中略）**C P A 確認後 1 0 分以内**を目標とし、可能な限り速やかに投与する。**なお、初期心電図波形が除細動適応の場合はAEDプロトコルを優先すること。**

3

## 現行プロトコル

### P 4 5. 静脈路確保方法

- ② 静脈路確保に要する時間は1回90秒として、施行は傷病者に対して**2回までとする。**



## 改定案

### P 4 5. 静脈路確保方法

- ② 静脈路確保に要する時間は1回90秒として、施行は傷病者に対して**原則 2 回まで。**  
**ただし、それ以上の穿刺は現場出発している場合に限り、医師の指示により実施可能とする。**